

社会分野

地域の皆さまとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

地域社会の発展への貢献(芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)

「芸術・文化振興」「地域振興」「スポーツ振興」「教育支援」の4分野を軸に、地域とのパートナーシップを推進し、さまざまな社会貢献活動を実施しています。

芸術・文化振興、地域振興

「広響ホットコンサート」の開催

国際平和文化都市・広島を拠点に活躍する「広島交響楽団」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

「第37回広響ホットコンサート このまち思いシンフォニー」(2023年)は、広島文化学園HBGホールにて、指揮者に山下一史氏、ピアニストに吉見友貴氏をお招きし、心に響く名曲をお届けし、1,360名ものお客さまにお楽しみいただくことができました。また、より多くの方々に音楽を楽しんでいただけるよう、インターネット配信も実施しました。



コンサートステージ

「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国との友好・信頼関係を深めるとともに、両国間の交流推進を目的として、1996年から広島インドネシア協会の事務局を担っています。

約200の法人・個人会員のご支援のもと、年間を通じてさまざまな活動を行っており、特に、在広インドネシア人の方々との交流やインドネシア共和国の理解を深める場として、総会、インドネシア共和国独立記念祭、講演会、インドネシア文化に親しむ会、インドネシア料理を楽しむ会などを開催しています。



独立記念祭

「このまち思い えがお食堂」を通じた温かいコミュニティづくり

未来を担う子どもたちの健やかな心身の育成と、子どもから大人まで誰もが笑顔で触れ合える地域のコミュニティの場として、こども食堂「このまち思い えがお食堂」(事務局:広島ガス)を、毎月1回、広島ガスショールーム ガストピアセンターにて開催しています。季節の食材を用いた食事の提供や、体験や学びを通して心を育てる「えがお企画」を行っています。



調理の様子



えがお企画「読書の秋」

「ひろしまフラワーフェスティバル」への参画

「ひろしまフラワーフェスティバル」におけるステージやブース出展などの参画を通じて、地域活性化に貢献しています。2024年度は5年ぶりの3日間開催となり、ブースでは、SDGsをテーマに、ガスの端材や段ボールを活用したゲームや工作を展開し、多くのお客さまにご来場いただきました。



ステージ・ブース



SDGsをテーマにしたゲーム

スポーツ振興

広島ガスバドミントン部

S/Jリーグ上位をめざして

広島ガスバドミントン部は、1995年3月に創部した女子実業団チームで、国内最高峰である「バドミントンS/Jリーグ」の上位をめざして、日々活動しています。バドミントン講習会での指導など、地域貢献活動を通じてスポーツの魅力を伝える取り組みも行っています。



バドミントンS/Jリーグ



バドミントン講習会

広島東洋カープ

「広島ガススポンサードゲーム」を開催

広島東洋カープの応援を通じて地域を盛り上げるため、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。2023年度も、広島市民球場(MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島)に広島ガスWeb会員をはじめ熱いカープファンが集結し、応援を楽しみました。



広島東洋カープスポンサードゲーム(2023年5月)

広島ガススキー部

海外遠征などの競技活動・地域貢献活動

スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2011年から広島ガススキー部に所属し、2023年度はワールドカップ7位入賞などの実績をあげました。ひろしま観光大使としても活動し、広島県内ではオリンピックを通しての成長や自分らしく生きるために大切にしていることを伝える出張授業「未来を拓く教室」、子ども用スノーボード貸出企画を実施するなど、地域貢献活動にも力を入れています。



竹内智香選手



スノーボード貸与式



未来を拓く教室

サンフレッチェ広島

「広島ガススポンサードゲーム」を開催

「サンフレッチェ広島」のサポートとスポーツを通じた地域活性化のため、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。2023年度も、広島ガスWeb会員や当社役職員をはじめとしたサポーターがエディオンスタジアム広島に集結し、精一杯応援しました。



サンフレッチェ広島スポンサードゲーム(2023年7月)

教育支援(次世代教育への取り組み)

地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、エネルギー・環境教育、防災教育、食育、科学教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。主に小・中学生を対象にさまざまな次世代教育プログラムを行っており、パンフレットやホームページなどを通じて紹介、募集しています。訪問しての出張授業が難しい場合には、サイエンスショーや防災教室の授業内容を収録したDVDの配布や、エネルギー・環境教育に関する教材のご紹介を行うなど、より多くのニーズにお応えできるよう努めています。



次世代教育プログラムパンフレット



サイエンスショーのDVD



広島ガス防災教室のDVD

出張授業

◎ エネルギー・環境教育

サイエンスショー【小学生・中学生対象】

冷熱・燃焼実験や燃料電池の実験を通じて、天然ガスの特性、エネルギーや環境保全の重要性などをわかりやすく伝え、科学の楽しさ・面白さを体験いただく場を提供するとともに、SDGsへの取り組みについても紹介しています。



サイエンスショー

技術研究所 理科授業【小学生・中学生対象】

技術研究所の職員が、天然ガスや燃料電池の実験を通じて、「エネルギーと環境」についてわかりやすくお伝えしています。



技術研究所
理科授業

◎ 防災教育

広島ガス防災教室【小学生・中学生対象】

もしもの災害時に備えて、ガス・電気・水が使えない「ライフラインのない暮らし」について考え、いざという時の対処法や備えの大切さを学びます。また、火の大切さを知るために、人類と炎の歴史を学び、火おこし体験などを通じて火に親しむ火育学習も取り入れています。

その他、当社単独の防災教室以外に、広島市水道局・中国電力ネットワーク(株)・NTT西日本(株)と広島ガスの4者合同で「ライフライン防災教室」も開催しています。



ライフライン防災教室

◎ 食育

エコ・クッキング※教室【小学生・中学生対象】

調理実習や講義を通して、食べ物やエネルギーを大切に使うことを学び、無駄のない調理の工夫などを通じて日々の生活と環境やSDGsとのつながりについて学びます。

※「エコ・クッキング」は、東京ガス(株)の登録商標です。



解剖実験講座

科学講座

スーパーサイエンスミュージアム(SSM)【小学生対象】

実験や体験を通じて科学を楽しく学ぶプログラムで、大学など研究機関、学校、企業、科学館などの関係者でつくるプロジェクト委員会(事務局:広島ガス)が、小学5・6年生を対象に年間講座を開催しています。2023年度は、事業開始20周年を記念し、SSMにゆかりのある有識者3名を迎えて「未来を創る これからの環境×教育×科学」と題した特別講演会を開催しました。一般聴講者を含め約230名が参加し、これからの環境保全や科学教育について考える機会となりました。

情報発信・お客さま満足度向上の取り組み

ステークホルダーの皆さまに広島ガスグループの活動などをご理解いただけるよう、さまざまな情報発信を行っています。具体的には、ホームページや各種法定書類などを通じたIR・環境保全に関する情報開示、プレスリリース、グループ広報誌などを通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

報道発表

広島ガスグループのトピックスや財務状況などの情報は、記者会見、プレスリリースなどを適宜実施して報道機関に提供し、ステークホルダーの皆さまに速やかかつ確実に伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。



記者会見



ホームページ「プレスリリース」

IR関連

決算短信、有価証券報告書を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書の発行や、決算説明会・会社説明会を実施するなど、適宜、広島ガスの活動内容や財務状況の全容を開示しています。



決算説明会(アナリスト向け)

消費者団体との懇談会

当事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため、(公社)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。



(公社)広島消費者協会との定例懇談会

グループ広報誌

グループ役職員が経営重要事項をしっかりと情報共有することで、グループ全体の価値向上を図ることを目的に、グループ広報誌「GASLAND」を発行しています。グループ会社の役職員に加え、同業他社、取引先企業、報道機関関係者、官公庁、県内教育機関などにも配布し、広島ガスグループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GASLAND」

季刊誌

ガスのある暮らしに役立つ情報を発信するため、年に4回(4月、7月、10月、1月)、季刊誌「ガスポ」を発行し、検針時に配布しています。

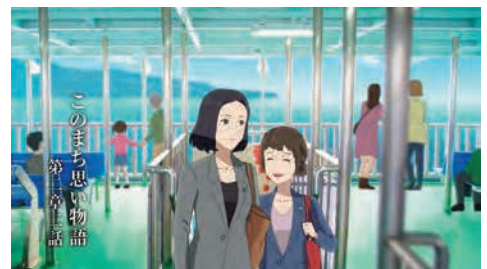
2023年度は、秋の恒例イベントである「ガス展」や、電話やWEBで特別価格のガス機器が購入できる「このまち思いセール2023」の告知にも活用しました。



季刊誌「ガスポ」

企業スローガンの浸透に向けて

企業スローガン「このまち思いエネルギー。」に込めた思いをより多くの皆さまにお伝えするため、広島の実在する風景をアニメで描いたドラマ仕立てのCM「このまち思い物語」を放映しています。

CM
ライブラリー

企業CM「このまち思い物語」

ソーシャルメディアでの情報発信

お客さまへ広島ガスに関する最新情報や暮らしに役立つ情報を発信するため、ホームページに加え、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、YouTube、LINEの公式アカウントを開設し、より有意義なコミュニケーションを図るツールとして活用しています。



広島ガス公式X
@hirogas_saigai



広島ガス公式Facebook
@hiroshimagas



広島ガス公式Instagram
@hiroshima_gas



広島ガス公式YouTube



YouTubeチャンネル
「ガスキーちゃんねる」



広島ガスLINE公式アカウント
@hiroshimagas

求める人材像「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」

広島ガスが求める人材像は、「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」です。具体的には、謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い人間力と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い現場力を有しており、主体的に考え行動し、さまざまな仲間と一体感を持って協働していけるバランスの取れた人材です。従業員全員が、この「求める人材像」をめざすという認識のもとで、さまざまな取り組みを行っています。

全員が総合職

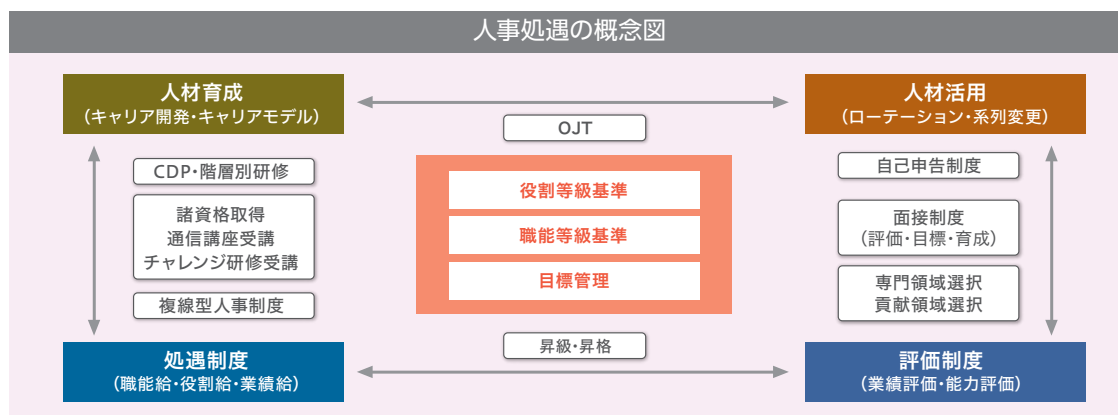
ガス事業は、安定供給と保安の確保を前提として成り立つ事業であり、事業運営をより安定的かつ効率的に進めることが求められています。そのためには、すべての部署が協力して物事を進めることが大切で、従業員が自分の職場や役割を超え、つねに全体のリスク低減や全体最適を考え、行動することが必要であるため、従業員は全員が総合職として活躍しています。製造・供給・営業・管理業務など、さまざまな業務を経験することが可能であり、本人の適性や希望もふまえ、個人の能力が最大限発揮できるよう、適材適所の人員配置を行っています。

人事処遇制度

2030年ビジョンの取り組みの一つに「地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用」を掲げています。

会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

広島ガスでは、従業員一人ひとりの能力を伸ばすと同時に、個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。また、適正に評価し処遇するために、能力や成果を評価する評定者に対しては、新任管理職研修などの機会を利用し、評定者訓練などを行っています。



人材育成制度

業務に直結する専門技術の習得やさらなる技能向上をめざす研修に加え、従業員個人のキャリア開発に向けた研修や、自己啓発支援など、さまざまな人材育成の取り組みを行っています。

また、近年では、グループ戦略実現に不可欠となるDX人材育成にも注力しています。

【研修体系図】

	新入社員	主任研修	係長研修	課長代理研修	新任管理職研修	管理職研修
階層別研修（役割認識とマネジメント力強化）	新入社員研修					
キャリア開発研修（CDP）（生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発）	CDP1（入社半年後研修）	CDP3（入社3年目研修）	CDP30（30歳次研修）		CDP40（40歳次研修）	CDP50（50歳次研修）
チャレンジ研修（テーマ別のスキルアップ）	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉〈指導力〉〈決断力〉など					
ガス技能研修（社内資格研修など）	技能資格研修〈営業（機器関係など）〉・〈供給（配管関係など）〉 技能向上研修〈スキルアップ〉〈営業〉〈供給〉・オーダーメイド研修 など					
社外セミナー派遣（職務別のスキルアップなど）	各種部門内研修・各種社外講演会					
人権啓発推進	コンプライアンス研修会					
国内外留学	キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学					
自己啓発支援	通信講座受講支援・資格取得支援・マネジメント力養成講座・オンライン英会話					
その他	メンター研修・女性活躍推進・定年退職再雇用者・DX推進関連など					

働きやすい職場環境をめざして

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

働き方改革への取り組み

「働き方改革」については、①総労働時間の短縮、②多様で柔軟な働き方への環境整備、③多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)の3つを軸に取り組みを進めています。

「決められた時間で仕事をやりきる意識・風土への改革」を推進し、従業員がやりがいや働きがいを持ち、生産性の高い働き方を実現していきます。

① 総労働時間の短縮

◎全社一斉定時退社日

残業をせず定時での退社を推奨する日を設定

◎ゆっくり来よう・はよ帰ろうDAY

フレックスなどを活用した遅めの出社や早めの退社を促進する日を設定

② 多様で柔軟な働き方への環境整備

◎フレックスタイム制度

社員一人ひとりが、自分の労働時間に裁量を持つことで、効率的な勤務が可能

◎育児・介護短時間フレックス勤務制度

社員の育児・介護支援策の一環として、1日の所定労働時間を短縮した4種類の勤務パターンを設定し、仕事と育児・介護の両立を支援

【育児短時間フレックス制度利用者の推移】

区分	年度	2019	2020	2021	2022	2023
育児短時間フレックス利用者(人)		17	17	21	20	19

◎テレワーク勤務制度

「在宅勤務」「サテライトオフィス勤務」「モバイル勤務」の3つを活用し、柔軟な働き方を推進

③ 多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)

◎採用人数に占める女性割合を30%以上とする

採用人数に占める女性割合 41.2%(2023年度)

◎女性の職域を全部門、グループに拡大する

◎女性の管理職への登用

管理職に占める女性割合 5.3%(2023年度)

人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続雇用制度の充実、積極的な障がい者雇用など、多様な人材の確保に取り組んでいます。

採用にあたっては「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」を確保すべく、男女雇用機会均等法を遵守し、公正かつ公平な選考を行っています。

また、女性の職域拡大など「多様な人材が活躍できる組織風土づくり」に取り組んでいます。

【雇用状況の推移】

※()内の数値は女性

区分	年度	2019	2020	2021	2022	2023
期末要員数[人]		672(137)	685(147)	681(155)	681(153)	686(162)
平均年齢[歳]		43.6(39.5)	43.4(39.0)	43.5(39.5)	43.9(39.7)	43.9(39.9)
平均勤続[年]		18.4(13.3)	18.4(13.1)	18.5(13.4)	18.7(13.9)	18.7(13.9)
新卒採用[人]		20(8)	24(10)	19(8)	18(10)	17(7)
定年退職[人]		9	10	11	10	8
うち再雇用[人]		(8)	(10)	(11)	(9)	(5)
障がい者雇用数[人]		18	18	20	17.5	15

従業員が生産性の高い働き方を実現できるよう、働きやすい職場環境づくりに努めており、仕事と育児・介護の両立を支援する制度を整備・拡充するなど、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。こうした取り組みは、従業員の活躍を支援するとともに、企業が社会的責任を果たす上でも大変重要であると考えています。

【育児休業制度利用者と復職率の推移】

区分	年度	2019	2020	2021	2022	2023
育児休業制度	利用者(人)	8	8	6	14	22
	利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

「くるみん認定」を取得

当社は、子育てサポート企業として、厚生労働大臣が認定する「くるみん認定」を2022年8月に取得しました。



社員の声 育児休業を取得

同じ会社で働く妻の第1子出産時に、病院から自宅に戻った妻のサポートができればと思い、約2週間の「産後パパ育児休(出生時育児休業)」を取得しました。里帰り出産ではなかったため、私が育児を取得して家事を受け持ち、2人で産後を乗り切ることができたことに妻も喜んでくれましたし、私も生まれたばかりの子どもと過ごす時間を持つことができて幸せでした。また、職場の皆さんに後押しいただいたことに感謝しています。



デジタル戦略推進部
山田 陽大

今は妻も復職しており、仕事と育児の両立ができるよう、段取りよく効率的に仕事をして、これからも家族との時間を大切にしていきたいです。

人権啓発推進活動

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がす人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力を発揮できる職場環境の実現をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループ各社を含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」、「ハラスメント相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりにも力を入れています。

また、広島ガスグループ全体で「人権・コンプライアンスに関する意識調査」を毎年実施しており、その結果をもとに、全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を全事業所で実施し、人権啓発意識の向上に努めています。その他にも、「人権講演会」「ハラスメント研修会」の開催や、毎月7日を「マナーの日」と定め、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりを進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(同和問題の解決をめざす広島企業連絡会)に加入し、地元企業と連携した人権啓発推進活動にも取り組んでいます。



労働安全衛生の取り組み

労働安全衛生活動の方針と体制

【基本方針】

広島ガスグループは労働安全衛生に関する基本方針を定め、従業員の安全・健康管理を推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

広島ガスグループ安全衛生基本方針

広島ガスグループは、従業員が安心して働くことのできる「安全な職場」の実現と「心身の健康」の保持増進を経営の重要課題として位置付けるとともに、経営者ならびに全ての従業員は、「安全と健康は全てに優先する」という考えのもと、「安全で働きやすい職場環境」の実現に向けて、以下の項目に取り組む。

① 法令遵守

- 安全衛生に関する法令、社内規程、社内基準および作業マニュアルなどを遵守する。

② 安全衛生意識の向上

- 安全衛生に関する教育・訓練を通じて安全衛生に対する意識の向上を図る。

③ 安全文化の構築

- 安全最優先の考え方・行動が根付いた安全文化を構築する。
- 業務に潜む危険に対する感受性を高め、率先してリスク低減に努める。

④ 健康づくりの推進

- 心身の健康づくりのため、健康保持増進の環境整備、機会の提供に取り組む。
- 心身の健康づくりに自ら率先して取り組む。

【推進体制】

安全衛生管理組織のもと、本社地区の安全衛生委員会(担当役員参加)を中心として、各事業所にも安全衛生委員会を設置し、連携しながら安全衛生活動を推進しています。

また、経営会議への安全衛生活動状況の定期報告などを通じて、活動内容の充実に努めています。

労働災害の防止

【安全意識の向上】

安全意識の向上のため、労働安全に関する情報を「安全ニュース」として定期的に発行し、社内イントラネット上の掲示板に掲載しています。

また、安全意識を徹底し定着させることを目的に、毎年7月の全国安全週間と10月の全国労働衛生週間に合わせて、グループ役員に向けた社長メッセージを発信しています。

健康経営に向けた取り組み

健康への投資を行うことは、役職員の活力や日々の生産性の向上など、組織の活性化をもたらすこととなり、結果的に業績や株価といった企業価値の向上につながるとの考えのもと、2021年より健康経営に向けた取り組みをスタートしました。

従業員の心と体の健康の保持増進に向けて、人事部 産業保健スタッフが中心となり、取り組みを推進しています。

【重点項目と評価項目】

重点取り組み項目	評価項目
1.生活習慣の改善	喫煙率の低下 ウォーキング実施者の増加
2.ストレスチェック結果の向上	ワーク・エンゲイジメントの向上
3.健康診断結果の改善	法定項目有所見率の低下

重点取り組み項目については、グループ各社においても2030年までの目標値を設定し、グループ全体で取り組みを推進しています。



産業医の健康指導

【主な取り組み】

◎ 喫煙率の低下

- ・構内喫煙場所の屋外化の推進、禁煙指導の実施。
- ・毎月「22日」の禁煙デーにイントラネットで情報発信。

◎ ウォーキング実施者の増加

- ・健康保険組合と連携したウォーキングキャンペーンの実施、健康情報の発信。

◎ メンタルヘルス対策

- ・職場ミーティングを通じて、快適な職場環境や効率的な業務への改善を実施。
- ・メンタルヘルスに関する各種研修(ラインによるケア、セルフケアなど)の充実。
- ・ストレスチェック集団分析結果に関してメンタル産業医による説明会を実施。

◎ その他

- ・保健指導の実施、健康意識向上のための健康情報発信、女性の健康に関する研修、ワークパフォーマンスを上げるコンディショニング講座などの開催。